



知ってる？日本の食料事情

～日本の食料自給率・食料自給力と食料安全保障～



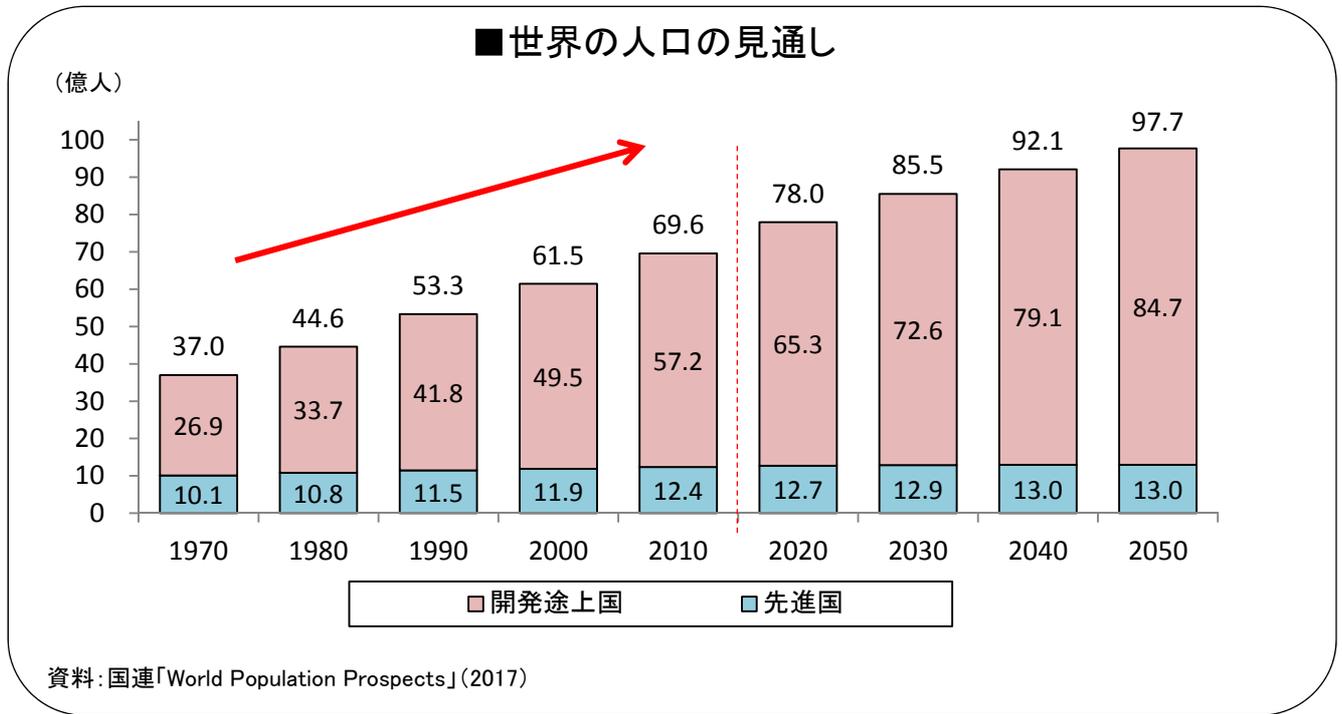
平成 2 9 年 9 月

農林水産省

目次

■ 世界の食料事情	・・・ 1
① 世界の人口の見通しと穀物の需給の推移	
② 経済成長により飼料穀物の需要がさらに拡大	
③ バイオ燃料生産の拡大	
④ 異常気象等により穀物生産は大きく変動	
⑤ 輸出国もいざという時は自国内の供給が優先	
■ 我が国の食料事情	・・・ 6
① 我が国は主要農水産物の輸入を特定国に依存	
② 我が国の食生活は時代とともに変化	
③ 我が国の食料自給率は長期的に低下傾向	
コラム 食料自給率の計算方法	
④ 食料の潜在生産能力(食料自給力)とは	
⑤ 食料自給力は低下傾向で推移	
■ 安定供給に向けた取組	・・・ 12
① 国内の農業生産の増大目標 (食料自給率)	
② 食料自給率・自給力向上のためにできること	
③ リスクの分析・評価と不測時における対策	
④ 我が国の農産物備蓄と家庭での備蓄	

世界の人口は、2050年には98億人まで増加する見通しです。

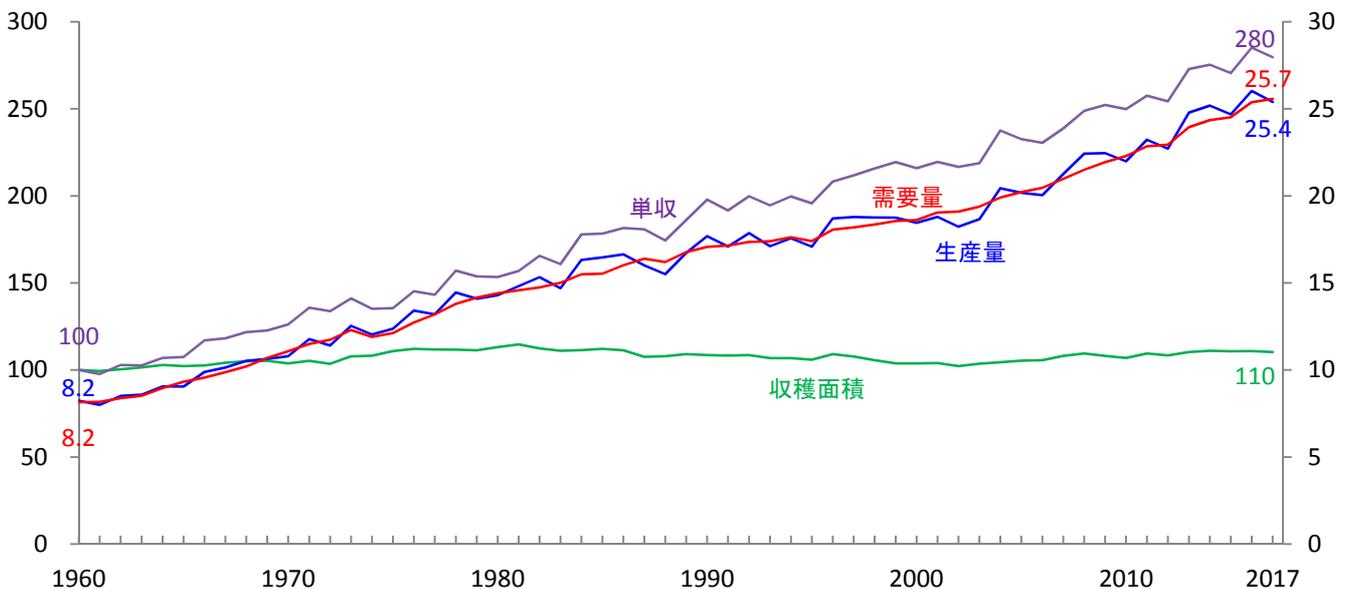


人口の増加に伴い、穀物需要量が増加していますが、穀物生産量は、主に単収の伸びにより、これに対応しています。

収穫面積・単収
(1960=100)

■世界の穀物の需給及び単収等の推移

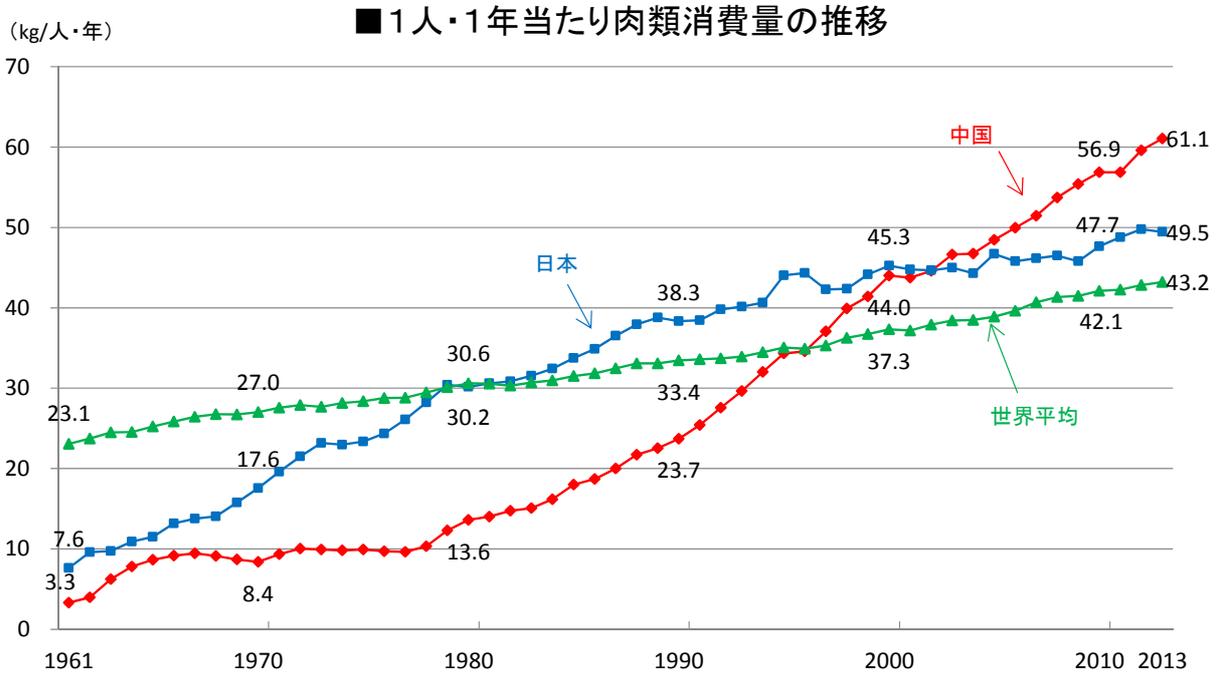
生産量・需要量
(億トン)



資料: USDA「PS&D」(2017年8月)、単収及び収穫面積は1960年を100とした場合の指数。

世界の食料事情② 経済成長により飼料穀物の需要がさらに拡大

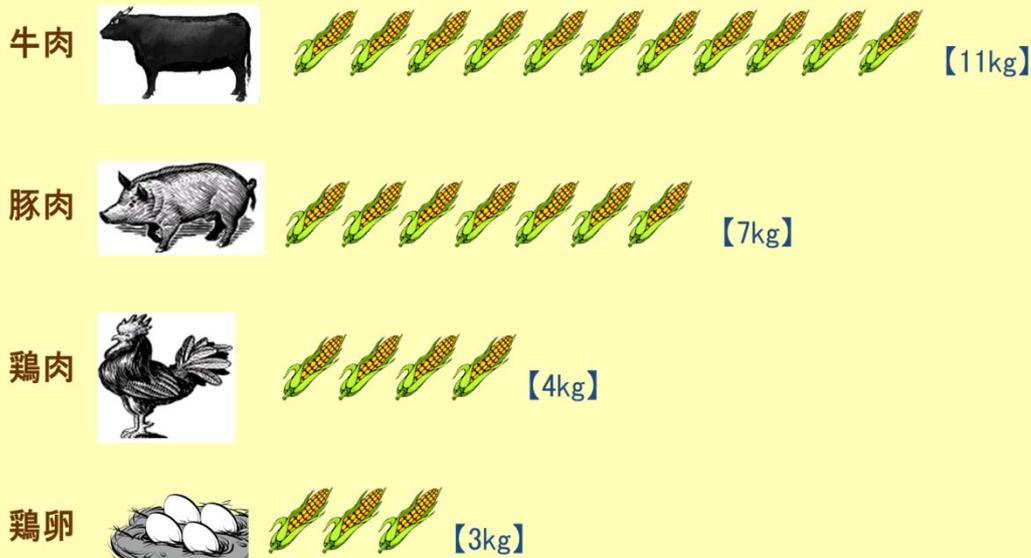
経済が成長し、国民1人当たり所得が向上するにつれて、1人・1年当たりの肉類消費量は増加する傾向にあります。



資料: FAOSTAT (数値は粗食料ベース)
注: 肉類は、牛肉、羊肉、豚肉、鶏肉、その他の合計。

畜産物1kgの生産には、その何倍もの飼料穀物が必要です。このため、畜産物消費量が増加すると、穀物の需要が急激に増加します。

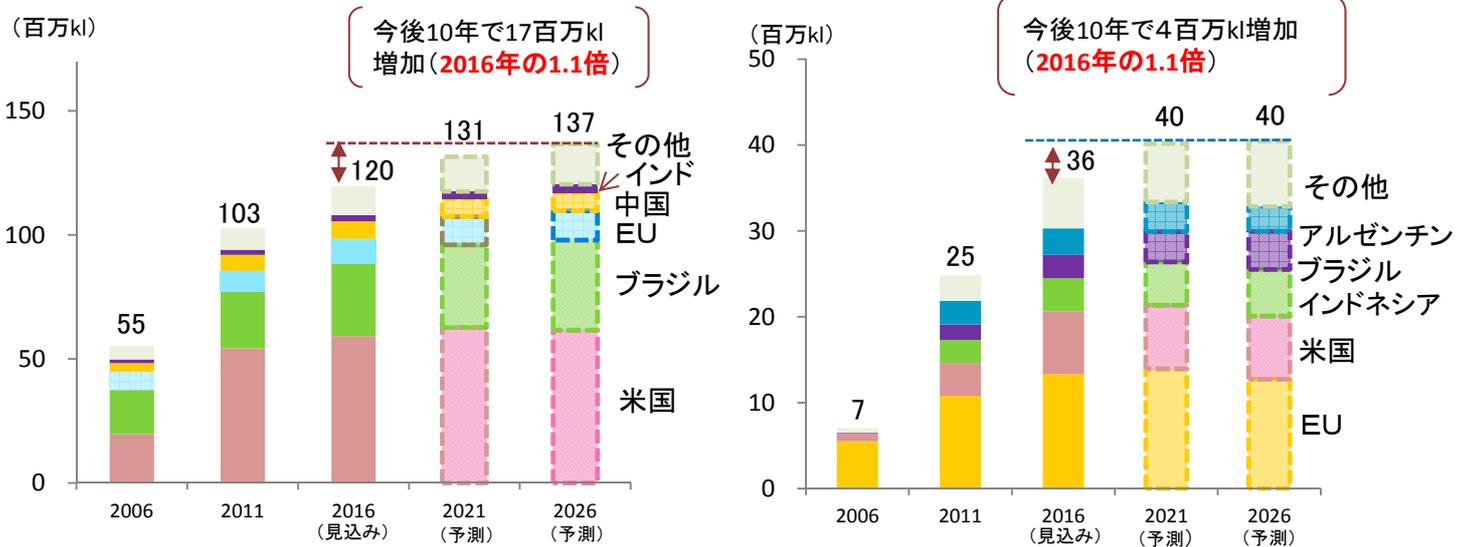
■ 畜産物1kgの生産に必要な穀物量



資料: 農林水産省で試算。(日本における飼養方法を基にしたとうもろこし換算による試算)

バイオ燃料生産は拡大傾向にあり、食用需要と競合するおそれもあります。

■世界のバイオエタノール生産量の見通し ■世界のバイオディーゼル生産量の見通し



資料: OECD-FAO「Agricultural Outlook 2017-2026 Database」を基に農林水産省で作成。
注: EU加盟国(28か国)については、EUとして一括区分。

(参考1) バイオエタノールの原料として用いられる主な農産物

国名	主な原料農産物
ブラジル	さとうきび
米国	とうもろこし
EU	てんさい、小麦
中国	とうもろこし、小麦、キャッサバ
インド	さとうきび

(参考2) バイオディーゼルの原料として用いられる主な農産物

国名	主な原料農産物
EU	なたね、油やし
米国	大豆
インドネシア	油やし
アルゼンチン	大豆
ブラジル	大豆

資料: FAO「Biofuels and the sustainability challenge:」を基に農林水産省で作成。

○バイオエタノールとは

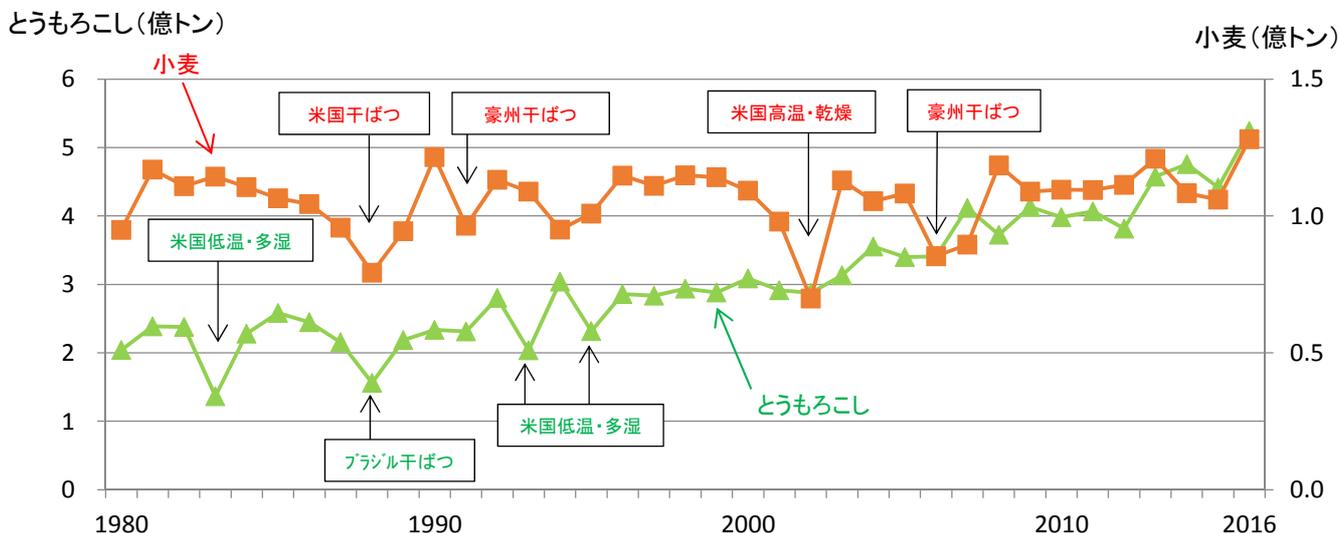
糖質又はデンプン質作物を原料として発酵させ、濃度99.5%以上の無水エタノールにまで蒸留して作られます。ガソリンと混合して利用されます。

○バイオディーゼルとは

油糧作物や廃食用油といった油脂を原料として作られます。単独で、または、軽油と混合して利用されます。

干ばつ等の大規模自然災害や異常気象により、穀物の生産量は大きく影響を受けています。

■小麦ととうもろこしの主要輸入元における生産量(合計)の推移

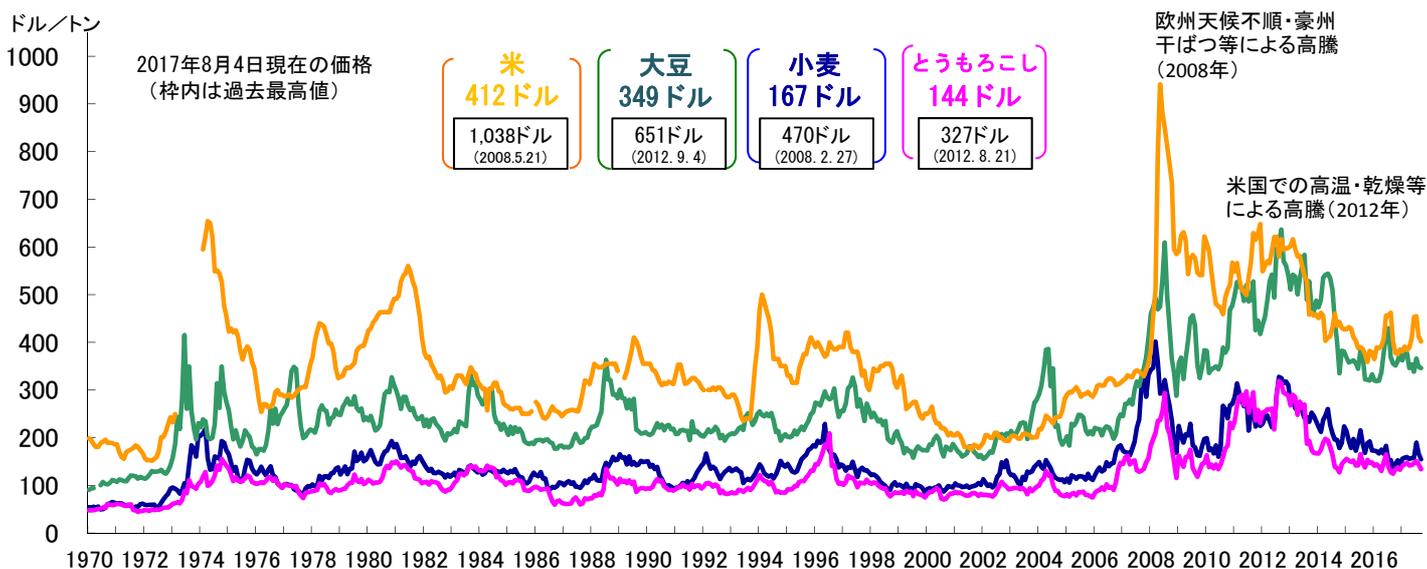


資料: USDA「PS&D」(2017年9月)

注:小麦は米国、カナダ、豪州の生産量の計。とうもろこしは米国、ブラジル、アルゼンチンの生産量の計。

穀物等の国際価格は、飼料穀物需要やバイオ燃料需要の増加といった要因に加え、生育期の天候等により変動します。

■穀物等の国際価格の動向



資料: 農林水産省「穀物等の国際価格の動向」

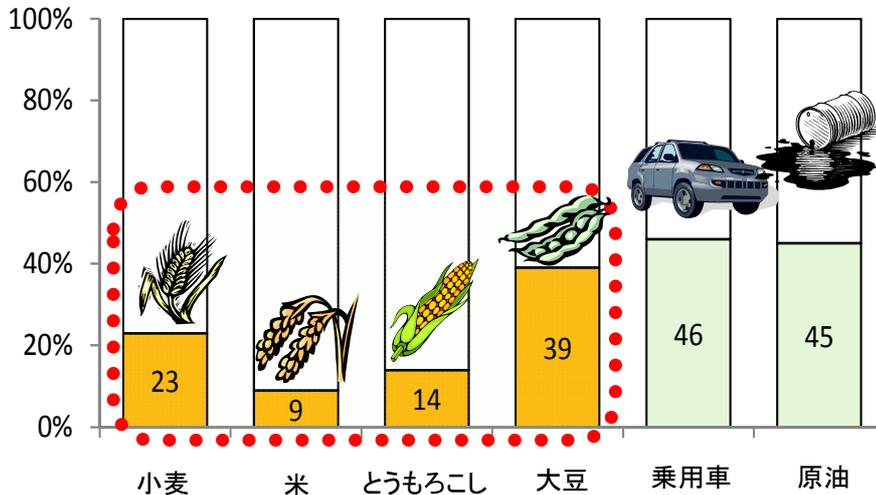
注1:小麦、とうもろこし、大豆は、シカゴ商品取引所の2017年8月までの各月第1金曜日の期近終値の価格。米は、タイ国家貿易取引委員会公表による各月第1水曜日のタイうるち精米100%2等のFOB価格。

注2:過去最高価格については、米はタイ国家貿易取引委員会の公表する価格の最高価格、米以外はシカゴ商品取引所の全ての取引日における期近終値の最高価格。

世界の食料事情⑤ 輸出国もいざという時は自国内の供給が優先

農産物は、鉱工業品に比べ、輸出に仕向けられる割合が低く、多くを自国の食料として消費しています。

■主要農産物と鉱工業品の貿易率

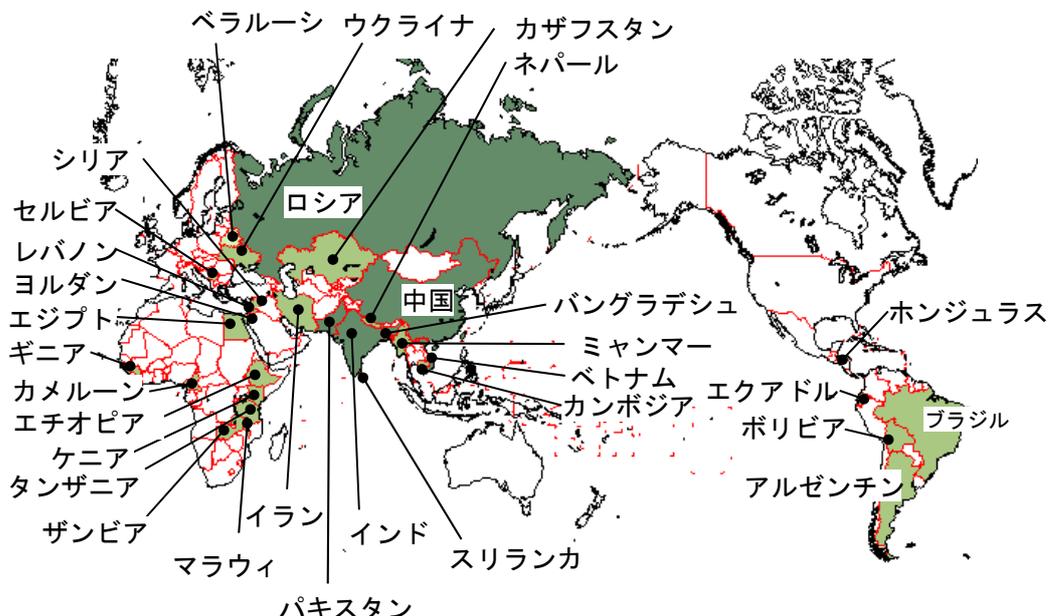


資料:USDA「PS & D」(2017.8)(2014/15の数値)、(社)日本自動車工業会調べ(2014年の数値)、IEA「Key World Energy Statistics 2016」(2014年の数値)を基に農林水産省で作成。

注:貿易率=輸出量/生産量×100

食料需給のひっ迫や食料価格が高騰した場合には、各国では輸出を制限するなど、自国内の食料の安定供給が優先される傾向にあります。

■2007-2008年価格高騰時の輸出規制の状況



輸出規制の種類	実施国数	凡例
①輸出量の規制のみ (輸出禁止又は輸出枠の設定)	25カ国	■
②輸出価格の規制のみ (輸出税賦課及び輸出最低価格の設定)	1カ国	■
①及び②の両方を実施	5カ国	■

注:2007年中頃から2008年12月中旬の間に実施された輸出規制を対象としている。

資料:FAO「Crop Prospects and Food Situation, No. 5, December 2008」を基に農林水産省で作成。